

【研究概要】

絵画，版表現，現代美術（映像メディア表現，インスタレーション等）を研究しています。論文は主に「制作学」「身体論」「美術解剖学」「生命形態学」が主題とされてきました。他にも芸術企画のプロジェクト研究も推進しています。



サガキケイタ 《Across the Universe》

シェル美術賞 2007, 損保ジャパン美術財団選抜奨励展, 上野の森美術館大賞展, リキテックスビエンナーレ入選作品展, ほかで活躍



高橋悠 《繋がる》

雪梁舎フィレンツェ賞展, モダンアート展, 福島青年の展望展 ほかで活躍



齋藤友希 《過去に気づく》

第4回 星乃珈琲店絵画コンテスト優秀賞 (福田美蘭賞)

【修了研究】

ゼミ生は洋画（油彩，テンペラ），アクリル，日本画，版画（木版画，銅版画，リトグラフ），CG（コンピュータ・グラフィック）や映像表現など幅広いメディアで作品制作を行っています。「制作学」に関する論文や『福島ビエンナーレ』のアートプロジェクトを研究する院生もいます。修了生の多くは，小，中・高等学校教員となり，美術家やアート・コーディネーター，デザイン関連会社などでも活動しています。研究室には諸外国からの研究生が所属したり，海外研修や国際展にも参加してきました。

修了研究副論文題目例

- 「版表現における肌のメタモルフォーゼ」
- 「絵画における色彩感覚」
- 「芸術による文化活動としての街づくり」
- 「デフォルメーションを活用した表現」
- 「描画対象と主題の関係」

主な就職先

教員：小学校（東京），中学校（福島，宮城，神奈川），高等学校（福島，千葉，東京，神奈川，岩手），大学，公務員：市役所，博物館・学芸員，企業：デザイン・印刷会社，Webメディア関連企業等

【地域貢献活動】

1 福島県の地域産業，国内外の研究機関と連携した研究



- ・福島県地域づくり支援事業，福島県商工会館寄付金事業，木景観形成促進事業
- ・会津美里町商工会，磐梯熱海温泉観光協会，二本松市観光協会
- ・福島県環境と共生する農業広報ポスター（福島県農林水産部）
- ・映画『春よこい』『万能鑑定士Q』『図書館戦争』美術協力
- ・JAMSTEC50周年記念事業

2 福島県内の行政機関と連携した研究
アート・プロジェクトの企画・運営

<http://wa-art.com/bien/>



□ 産学官民の連携活動

- ・『全国生涯学習フェスティバル』（福島県）
- ・『福島こどものみらい映画祭』（福島県）
- ・『会津漆の芸術祭』（福島県立博物館）
- ・『バセオ・ミュージズ』（福島市）
- ・『未来の国見町をサイトシーイング』（国見町）

□ 主に企画・運営した芸術イベント

- ・『福島ビエンナーレ』（福島市，福島空港ほか）04-20年
- ・『風と土の芸術祭』（会津美里町）07-09年，13年
- ・『豊稷の芸術祭』（湯川村）14年
- ・『海神の芸術祭』（南相馬市）18年
- ・『重陽の芸術祭』（二本松市）16-18年
- ・『風月の芸術祭』（白河市）20年

3 芸術文化による〈国際交流〉や〈復興支援〉



<http://wa-art.com/koi/>

- ・ベルギー/ルーヴェンの Sint Michielskerkでの平和展
- ・フランスでのアート・キャラバン（Gambaro企画）
- ・復興祈念の幟旗《鯉アートのぼり》が全国の図画工作の教科書で紹介

【教員：渡邊 晃一の活動紹介】

生命形態（人体，動植物，地球）をテーマとした作品制作と美術理論（制作学，美術解剖学，生命形態学），美術教育（芸術教育学，STEAM教育，アートマネジメント）の三つの柱による連鎖的な研究を展開。美術家として国内外の美術館での企画展，個展等多数。新国立劇場企画のダンスの舞台美術，映画制作など広範囲に活動。『福島ビエンナーレ』『風と土の芸術祭』など，芸術祭の企画・監修。在外研修でアメリカ，イギリス，フランスの大学で客員研究員を勤めた経験を生かして，国際的な視野から，地域文化支援も積極的に行ってきました。郡山市文化芸術振興基本計画策定委員，経済産業省地域資源活用型研究開発事業，全国生涯学習フェスティバル，JAMSTEC（国立研究開発法人海洋研究開発機構），国立情報学研究所のアートアドバイザーなど。近年ではレオナルド・ダ・ヴィンチ研究を基盤に美術解剖学や「芸術と科学」を横断したSTEAM教育を推進。近著に『モナ・リザの教科書』（日本文教出版）。「生命形態と美術教育 三木成夫の解剖学からの接近」第30回佐武賞（教育美術・研究論文部門，最優秀賞）

<http://wa-art.com/koichi-w/index.html>

